

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE



2015/9/28

2015 FIA F1世界選手権シリーズ 日本グランプリレース

2015 S-FJ ドリームカップレース

CAR No.35

Beyond

長谷川 綾哉

アルビ新潟第一ホテル開志学園ビヨンド ED

CAR No.36

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

深村 匠

アルビ GIA 玉三郎 10V ED

CAR No.37

**MAKE
WINNER**

加藤 泰賀

アルビメーカーウィナーミネテック TSC ED

CAR No.38

MOTOR FREAK

小村方喜章

アルビモーターフリース GIA 湯田上 ED

CAR No.57

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校

丸山 友輝

GIA 新潟国際自動車大学校アルビレックス RT ワークス ED

9月26日(土)予選 27日(日)決勝 鈴鹿サーキット 1LAP=5.807km 出走25台

予選結果：深村選手 14位 長谷川選手 16位 加藤選手位

小村方選手位 丸山選手位

決勝結果：深村選手 14位 長谷川選手 16位 加藤選手 19位

丸山選手 20位 小村方選手 22位

■9月26日(土) 10時30分予選スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：26℃ 湿度：51% 路温：39℃

今回参戦するドライバーはいずれも鈴鹿の走行経験が少なく、長谷川選手が昨年のF1サポートレースから1年ぶり、深村選手と加藤選手が2年ぶり、小村方選手と丸山選手は初の鈴鹿サーキットとなり、慣れないコースでの適応力が試される中、各車コースイン。30分間の予選で各々タイムを刻んでいくが、深村選手の16番手を筆頭に、なかなかトップ10まで食い込めない。そして、残り時間3分を切ったところでコース上に部品が落下。

事実上アタックをかけてのタイム更新はできず、深村選手 16 位、長谷川選手が 18 位。加藤選手は 2 年ぶりの鈴鹿に手こずり 2 番手、小村方選手と丸山選手はそれぞれ 23 位、25 位で翌日の決勝を迎える。

■9 月 27 日（日） 10 時 14 分決勝スタート

天候：曇り コース：ドライ/ウェット 気温：20℃ 路温：27℃

サーキット全体が F1 に合わせて彩られ、観衆も集まり始めた F1 特有の雰囲気の中、10 時にフォーメーションラップスタート。前夜の雨によりコースのところどころが濡れているコンディションのため、各車充分路面状況を確認しながら進行するが、途中で 1 台が他車と接触しスピン、コース上で停車してしまう。この車両の回収作業が入ったため、車両回収後、再度フォーメーションラップをやり直し、レースは 8 周から 7 周となり争われる。

全車改めてグリッドにつき、大観衆の見守る中シグナルブラックアウトでレーススタート。大きな混乱もなく、各車次々とコーナーをクリアしていく。

深村選手は数珠つながりの中団グループでレースを展開。一進一退の攻防を繰り返し、予選より 2 つポジションを上げ 14 位でチェッカーを受けた。長谷川選手は普段とは違う車両ながらも深村選手より 1 つ 2 つ後ろでバトルを繰り返し、結果 16 位でフィニッシュ。加藤選手が 19 位、丸山選手が 20 位でゴールした。

小村方選手は 6 周目のダンロップコーナーで前車のスピンに巻き込まれる形で前車とクラッシュ。小村方選手のマシン左側面が前車に乗り上げる形で宙に浮くと、そのままぐりぐりと土煙をあげながら 4 回転して着地。幸いウォールには激突せず、小村方選手に大きなケガはなかったものの、マシンは足回りを中心に大きいダメージを受けレース続行は不可能となった。規定周回数は満たしていたため、レース結果は完走扱いの 22 位となった。

○長谷川選手コメント

今回久々に乗った車で、結果 16 位でまだまだ力不足だなと感じました。次回はもっともっとレベルアップして戦いたいと思います。

○深村選手コメント

今回 2 年ぶりに F1 サポートレースに参戦し、鈴鹿を走りましたが自分の力不足を痛感しました。日本一決定戦に向けいい経験ができたので、まずは次の富士シリーズのチャンピオンをしっかりと取って鈴鹿に備えたいです。

○加藤選手コメント

2 年前の F1 サポートレース以来の鈴鹿になりましたが、自分が想定していたより全然走れませんでした。日本一決定戦までに練習に来てしっかり走り込みたいです。

○小村方選手コメント

初の鈴鹿で十分な時間のない中決勝を迎えましたが、残念な結果になりました。この経験をバネに努力していきたいです。

○丸山選手コメント

初めての鈴鹿サーキットのレースが F1 サポートレースということで、お客さんも多くいつも以上に気合いを入れて挑みました。結果は満足できるものではないですが、今回の経験を糧にレースキャリアを重ねていきたいです。

○中村監督コメント

今年も F1 サポートの時期が来ました。今年度は 3 年目のラストと聞いておりましたので F1 の雰囲気を楽しく感じたいと思いました。

予想では地元鈴鹿をシリーズで参戦しているドライバーが上位を占める事が予想されました。その中で鈴鹿の走行時間が圧倒的に少ないドライバーの器用さ、適応能力を確認することが目的で、冬に開催される日本一決定戦の練習の意味合いが大きいです。

小村方選手は約一年ぶりの S-FJ で果敢にアタックしましたが、不運に前車のトラブルに巻き込まれ残念でした。

長谷川選手は 2 度目の出場となり、マシンを変更し、日本一決定戦に向け多くのデータが取れました。

加藤選手もデータ確認とコース確認に専念しました。

深村選手はトップ 10 を目標にしておりましたが 14 位とあと少しでしたが本人手ごたえがあった様子でした。

今回は全員が走行時間の少ない中、各チェックで終了した感じでした。

日本一決定戦はご期待ください。







P PLUS



Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tcnf.com/sds>



Moty's
www.motys.com

新潟日報

たわら屋

AUTO SYSTEM
NIIGATA

SPN
SPEED PARK NIIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ ・ 関根車体